

## 保健活動リレーエッセイ

# “まちの健康支えます！”

和水町 保健師 木原泰代

## 「住民の健康を支える。その人たちの大切な存在になれる」を目指して

国は、健康寿命の延伸とともに持続可能な社会保障制度を目指して、社会保障分野の改革と確実な実施を強調し、各種の制度改革を実行中です。

人口 10,615 人、高齢化率 38.3%（平成 28 年 7 月末）の当町にあっては、生活習慣病の発症と重症化予防の取り組みがその解決につながると信じ、特定健診の受診率向上と保健指導の充実に取り組んでいます。

「特定健診は保健指導をするための健診」として制度が改正された頃、町の保健指導時間は、保健師業務量全体のわずか 5.6%という実態がありました。このことから、課や係を超えた事業の見直しや事務職、専門職の役割分担を行い、さらに非常勤の事務職、専門職等を確保し、保健指導ができる体制を整えてきました。今、「対象者を明確にした保健指導しかない」と、“チーム和水”で共有し、保健指導の質を高めるための学習や実践を重ねつつ、住民さんのところに向向いて保健指導を行っています。

平成 26 年度は、特定健診受診率の全国同規模第 3 位、特定保健指導率の目標値達成、重症化予防対象者のデータ改善、医療費・介護保険費の高止まり等、一定の成果は出てきているように思います。

しかし、国の予防・健康管理の動きは加速しており、目標に向かっての実践をさらに強化しなければなりません。こつこつとした地道な取り組みの継続こそが成果につながると考えます。住民主体の本物の保健指導を実践し、住民の健康と町の社会保障費の健全化に役立ちたいと奮闘している毎日です。

### \* チーム和水 \*



健康福祉課の保健師・栄養士（前列中央が筆者）



国保・後期担当課の事務職と非常勤の事務職・専門職

次号執筆者は美里町の向山照美保健師の予定です。